

平成27年度 リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議
会議録

日時：平成28年1月29日（金） 14時～15時

場所：奈良市役所 6階 正庁

出席者

【会 長】

奈良市長 仲川げん

【副会長】

公益社団法人奈良市観光協会 会長 中村憲兒

奈良商工会議所副会頭代理 業務部指導課主事 西川佳孝

【会員】

春日大社 祢宜 西村泰宏

元興寺 江島和哉

西大寺 足立信伝

奈良観光物産製造卸組合 会長 前田武

奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部 支部長 下谷幸司

一般社団法人奈良市商店街振興会 会長 正木康雄

奈良商工会議所青年部 会長 平方貴之

一般社団法人奈良青年会議所 理事長 中本政容

株式会社まちづくり奈良 社長 松森重博

薬師寺 執事 松久保伽秀

【顧問】

奈良県議会議員 猪奥美里 奈良市議会 副議長 北良晃

奈良県議会議員 池田慎久 奈良市議会 観光文教委員会 委員長 植村佳史

奈良県議会議員 大国正博 奈良市議会議員 東久保耕也

奈良県議会議員 新谷紘一

奈良県議会議員 田尻匠

奈良県議会議員 中川崇

奈良県議会議員 山中益敏

【事務局】

観光経済部次長 長岡伸考

観光経済部参事事務取扱いニア推進課長 山岡利啓

観光経済部リニア推進課職員

平成27年度 リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議

日時：平成28年1月29日（金）

14：00～15：00

会場：奈良市役所中央棟6階 正庁

次 第

1 開 会

2 会長挨拶 奈良市長 仲川 げん

3 議 事

- (1) 奈良市のリニア新駅誘致の現状について
- (2) 会員活動報告および今後の活動について
- (3) リニア中央新幹線奈良駅設置推進決議

4 閉 会

(以下、議事内容)

【司会】

お待たせいたしました。本日はお忙しい中「平成 27 年度リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今回の会議は、奈良市情報公開条例第 29 条の規定に基づき、原則公開いたします。また、後日、会議録を作成する関係上、録音や写真撮影などを行いますので、ご了承くださいようお願い申し上げます。会議内容などにつきましては、奈良市のホームページやツイッター等でも公開いたします。

なお、本日の傍聴希望者は、5 名の方がいらっしゃいますので傍聴を認めることといたします。ただいまより入室していただきます。仲川会長よろしいでしょうか。

【会長：奈良市長 仲川げん】

はい、お願いします。

(傍聴人入場)

【司会】

それではまずはじめに、リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議の会長であります仲川奈良市長からご挨拶させていただきます。仲川会長よろしく申し上げます。

【会長：奈良市長 仲川げん】

皆様、こんにちは。本日は大変お忙しい中、また、お足元の悪い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。「リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」本日開催させていただきわけでございますけれども、リニアにつきましては、一昨年の 12 月に、品川－名古屋間が着工されまして、先日、一昨日には品川駅の建設工事が着工されたというニュースがでておりました。いよいよ、2027 年の開業に向けまして、名古屋までの工事が着工し、現実味が帯びてきたところでございます。名古屋以西のルートにつきましても、今年も色々な動きがあるのではないかとといった感もいたしております。これから我々奈良市といたしましては、昭和 48 年の当時から実質的な候補地として、奈良市が予定をされてきた中において、今後いかに着実に、そして確実に、この奈良市への誘致を実現することが、大きな課題となってまいります。

本日は、平成 27 年度中に取り組んでまいりました、様々な啓発活動や誘致に向けた P R 活動等、色々な取り組みをご報告申し上げたいと思っております。

また、これからの取り組みにつきましては、より奈良市への誘致を具体化するための積極的な取り組みとして、決議の採択や、今後の皆様方もご協力いただく中での誘致活動をご議論いただきたいと思っております。

本日も、奈良の各界を代表する方々にご参加をいただいておりますので、是非、広く市民の皆様を巻き込みながら、悲願であります奈良市駅誘致の実現に向けてご協力を賜りたいと願っております。限られた時間の中でございますが、極力、皆様方から積極的なご発言を賜りたいと考えておりますので、どうぞ最後までご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【司会】

仲川会長、ありがとうございます。次に、会議にご参加いただいております会員の皆様を 50 音順にてご紹介いたします。

- 春日大社祢宜 西村泰宏様でございます。
- 元興寺 江島和哉様でございます。
- 西大寺 足立信伝様でございます。
- 奈良観光物産製造卸組合会長 前田武様でございます。
- 奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部支部長 下谷幸司様でございます。
- 一般社団法人奈良市商店街振興会会長 正木康雄様 でございます。
- 奈良商工会議所青年部会長 平方貴之様でございます。
- 一般社団法人奈良青年会議所理事長 中本政容様 でございます。
- 株式会社まちづくり奈良社長 松森重博様でございます。
- 薬師寺執事 松久保伽秀様でございます。
- 公益社団法人奈良市観光協会会長で本会議の副会長の中村憲兒様でございます。
- 奈良商工会議所副会頭で本会議の副会長の矢追盛賢様の代理で出席いただいております、業務部指導課主事の西川佳孝様でございます。
- 最後に、この会議の会長で奈良市長の仲川げんでございます。

以上で会員の紹介を終了いたします。

次に、この会議の顧問の皆様をご紹介いたします。

- 奈良県議会議員 猪奥美里様でございます。
- 同じく、池田慎久様でございます。
- 同じく、大国正博様でございます。
- 同じく、新谷紘一様でございます。
- 同じく、田尻匠様でございます。
- 同じく、中川崇様でございます。
- 同じく、山中益敏様でございます。
- 奈良市議会副議長、北良晃様でございます。
- 奈良市議会観光文教委員会委員長、植村佳史様でございます。
- 奈良市議会議員、東久保耕也様でございます。

以上、本日ご出席いただきました会員・顧問の皆様のご紹介を終了いたします。なお、そのほかの会員・顧問の皆様方につきましては、本日公務所用のため欠席されております。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきたいと思っております。ここからの議事の進行は、仲川会長にお願いいたします。

【会長：奈良市長 仲川げん】

それでは、議事を進めさせていただきます。本日お手元にはお水をお配りしておりますが、リニアの形をしたペットボトルの水でございまして、若干普通の水より高いようで、味わっていただけたらと思っております。それでは議事の一つ目、奈良市のリニア新駅誘致の現状について、事務局より報告をお願いいたします。

【事務局】

現在までの奈良市のリニア新駅誘致の現状について報告いたします。資料の1をご確認ください。奈良県内のリニア誘致に関する歴史的な経緯についてです。昭和48年には全国新幹線鉄道整備法に基づく国の基本計画において、主要な経過地として、甲府市附近、名古屋市附近と並び、奈良市附近と記載されています。

昭和54年には、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会が、会長：奈良県知事、副会長：奈良県副知事、奈良市長、奈良商工会議所会頭として設立されています。ご覧のとおり、奈良市は副会長市として現在にいたるまで市町村としては最も多い額の分担金を負担しています。

平成元年には奈良県議会において、「奈良市に停車駅を設置する」旨議決がなされています。これに続き、同年奈良市議会においても同様の議決がなされています。

平成2年には、「奈良リニアエクスプレス展」が、奈良市と、JR 東海、奈良県、奈良商工会議所により、奈良市内で開催されています。

また、平成4年と、平成11年には、「東京・大阪間沿線経済団体リニア中央エクスプレス早期建設促進大会」が奈良県・奈良市の後援により、奈良市内で開催されました。

平成23年5月には、全国新幹線鉄道整備法に基づく国の整備計画において、主要な経過地：奈良市附近と明記されました。こうした経緯から、奈良市が事実上の駅建設予定市であることは明白であったのですが、平成23年11月JR 東海が中間駅建設費を負担することを発表して以降、平成23年には大和郡山市議会、翌24年には生駒市議会において、リニア中間駅設置を求める議決がなされています。

また、奈良県のお隣の京都府でも、京都市が、平成2年より、京都府中央リニアエクスプレス推進協議会を設立し、以降、毎年国に要望を継続しています。

また、京都府精華町についても、平成25年12月に、町議会において駅設置を求める議決がなされています。

こうした経緯を踏まえ、奈良市におきましても、平成25年、本日までご出席いただいている「リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」を設立した次第でございます。

次に奈良市のリニア推進活動について報告いたします。資料「リニア中央新幹線中間駅誘致に向けた啓発活動について」をご覧ください。こちらに今年度の主な活動についてまとめています。まず、1ページ、2ページをご覧ください。

1ページ、各種パンフレットの配布について記載しています。こちらのパンフレット類一式につきましては、本日資料として配布させていただいています。2ページの上、郵便局車両のラッピングカーによる大阪市内での広報活動、その下は、市職員へのPR名刺の配布を行っています。

次に、3ページ、4ページをご覧ください。イベント開催についてです。3ページ、5月17日に大和西大寺駅に隣接する「ならファミリー」で、イベントを開催しました。この際、広く活動をPRするため、奈良市リニアファン倶楽部を設立し、奈良市出身の人気タレント、三戸なつめさんに部長に就任いただきました。

また、4ページ、6月28日、本会会員の奈良青年会議所様主催のイベント内で、なら100年会館で「リニア！超電導！実験LIVE！」、奈良市リニアファン倶楽部部長「三戸なつめミニLIVE」を開催しました。

5ページ6ページをご覧ください。5ページ、今年9日には、京都府と奈良県の府県

境に位置するイオンモール高の原にて、「鉄道フェスタ in イオンモール高の原」を開催し、奈良市長と木津川市長との対談や、三戸なつめさんのライブ、トークショーを実施しました。

また、6ページの下、従来から実施していましたが、うちわやティッシュを活用した街頭啓発につきましては、今年度から活動範囲を広げ、大和郡山市や生駒市など奈良市外でも実施しています。

7ページ8ページをご覧ください。7ページ上が市長による、要望活動の様子、その下が職員によるPRポロシャツ着用の事例、8ページには、フェイスブック、ツイッターの活用や、キャラクター、リニア招き鹿：りにまねの活用について記載しています。

9ページ10ページをご覧ください。今年度、広報活動充実の成果として、テレビ出演の実現があります。本日あちらで傍聴されています、非公認キャラクターで、奈良市リニアファン倶楽部部員の「リニー君」の活躍もあり、翌11ページ、12ページまで、今年度出演のテレビ番組について記載しています。

13ページをご覧ください。12月26日に、奈良県内の約52万世帯を対象に、新聞折り込み広告を実施しました。こちらにつきましても、実際に配布した折り込み広告を、本日配付させていただいておりますのでご参照ください。

また、先進事例視察として、山梨県甲府市、長野県飯田市の視察調査を実施いたしました。以上、今年度の主な活動になります。

報告の最後に、ここで、ただいま申し上げました、イベント開催やテレビ出演についての映像作成しています。5分ほどの映像になりますので、ご覧いただきたいと思えます。

※動画再生

以上、今年度の活動報告となります。今後とも引き続き、奈良市へのリニア新駅設置実現に向け、リニア推進活動を強化していきたいと思えます。事務局からの報告は以上です。

【会長：奈良市長 仲川げん】

ありがとうございました。色々な所で、奈良市がリニア誘致に名乗りを挙げているという事を、特に全国に向けた発信が、少しずつできてきているという状況でございます。奈良県内はもとより全国の中でも、まだ京都がどうだという話も、まったくゼロにはなっ

ていないところもありますので、リニアの新駅は奈良市だということをできるだけ多くの 人にしっかりと頭に情報をいれていただきたいということも大事かと思っております。

それでは、皆様方から、奈良市のリニア新駅誘致の現状について、ご意見ご質問ございましたら、マイクをお持ちいたしますので、ご発言をお願いいたします。

【顧問：奈良県議会議員 中川崇】

中川でございます。奈良市さんの直接の活動ではないですけれども、最終的には駅を決定するのは JR 東海であると認識しております。JR 東海につきましては、どういう対応をされていらっしゃるのでしょうか。

【会長：奈良市長 仲川げん】

JR 東海さんにつきましては、名古屋以西のルートや駅の場所について、かなり慎重な発言に留めておられるというのが現状でございます。他府県ですと、都道府県内の駅の位置が、例えば三重県だと亀山一本に絞られており、話がしやすい状況ですけれども、奈良は県内でも複数の候補地が名乗りを挙げている状況にあります。我々も提言活動をさせていただいているんですけれども、JR 東海さんからは、あまり具体的な方向性を示すようなお答えをいただけないという状況です。

県の方も奈良県内に誘致という事で 継続的に働きかけをされているときいておりますけれども、今の段階では JR 東海さんとしては、具体的なルートや駅の位置については言及されていないという状況でございます。

他にご意見ございますか。

【顧問：奈良県議会議員 田尻匠】

昨今、新しく議論の対象となっている北陸新幹線のルートと同様に、リニア中央新幹線についても大きな問題となるのが、大阪の終着駅についてだと思います。大阪の終着駅がどこになるのか、例えば新大阪駅になるのか、大阪駅梅田周辺になるのか。あるいは関西国際空港周辺になるのか。それによってルートが変わる可能性があるかと、私ども中央を含めて聞き及んでおります。また、リニアの新駅を造るにあたっては、私鉄とのアクセスが非常に重視されると聞き及んでおります。そうした状況においては、例えば JR さん、近鉄さん、あるいは奈良交通さんと一緒になり考えていかないとならないと私

は思っております。その辺はいかがでしょう。

【会長：奈良市長 仲川げん】

ありがとうございます。奈良交通さんというお話もちよつとでましたので、中村副会長、なにか私鉄とのアクセスに関して、ご意見ございましたらお出しただいたらと思うのですが。

【副会長：公益社団法人奈良市観光協会会長 中村憲兒】

駅設置にあたっては、現在の私鉄、JR とのアクセスが一番大切になると思います。ただし、バスということになると、どこに駅ができれば、道路を整備するだけで、特別な投資という事は必要になりません。いずれにしても、奈良交通としては、奈良にリニア新駅を誘致するということは、将来の奈良を考えるにあたって、絶対逃してはならないといえるほどの大きなことだと考えています。

【会長：奈良市長 仲川げん】

ありがとうございます。やはり奈良県内では近鉄さん、いわゆる私鉄のネットワークが中心的な役割を担っているという部分が今までの経緯の中であります。現在、奈良市は新駅の候補地として、郊外型の平城山駅、及び市街地型の JR 奈良駅と近鉄奈良駅の間を提案しています。やはり両方とも、鉄道の結節性というのが重要な所だと思います。平城山駅につきましては、私鉄の駅と全く同じ場所ではありませんが、最寄の近鉄高の原駅から、1.5 km の場所に位置し、近鉄線とつなぐ方策はいくらでも考えられるのではないかと思います。

また、コストはかかりますけれども、地下駅として、JR と近鉄の中間あたりに駅を造ることができますと、JR と私鉄両方との結節性が高く、利便性の高い駅となります。最終的にはコストと利便性というどちらに重きを置くか、JR 東海さんの意思決定次第となります。我々といたしましては、今の段階では2案を提示しているという形でございます。中村副会長のお話にもありましたけれども、近鉄さんは本日お越しではないので、意向はわかりかねるところもありますが、奈良県内の移動ということを考えますと、近鉄との接続性については、必要性を感じているところでございます。

【顧問：奈良県議会議員 新谷絃一】

市長のお考えについては、もっともなご意見だと思います。現在、奈良県内において、奈良市以外に大和郡山市、生駒市も誘致に手を挙げている中で、県内で駅候補地の統一

を凶れというのが、関係の皆さんの意見としてあると思います。この辺どう考えているのかお聞きしたいと思います。

また、駅設置についてはJRが決定権をもっていますが、当初から京都ではなく、奈良を通るルートが計画されていました。国会議員の九府県による東京大阪間の促進議員連盟があり、田野瀬先生のお父さんが事務局長をされて、私はその会合にも出席しました。その時もなかなかいい意見が出て、積極的な考えにもかかわらず、京都においては、あきらめどころか、様々な手を使って、積極的に運動の展開を図っています。これは道義的にもおかしいと思いますし、京都はのぞみに乗れば2時間半で東京にいけるんだから、京都にはあきらめてもらって、逆に三重奈良ルートに協力を要請・お願いするというのが、大変大事なことだと私は思っています。そうすることで、道義的な面からも、京都が誘致から引くこともあると思います。

それからJRについてです。昨年、奈良県期成同盟会で、JRは駅設置を奈良に決定と発表するかと思っていたのですが、あくまで慎重な発言をしていますね。JRにつきましても、できるだけ色々な形で、古都奈良の良さをもっとPRして、「リニアは奈良を通すべき」ということを伝えていただきたいと思います。

そしてもう一つ申し上げます。京都は今、「京扇子」を売っていますね。もともとは「奈良扇子」で売り出したのに、京都が横取りをした。私は勝手にそう思っています。JR東海が奈良ルートを明言しないということや、京扇子の話からも、京都はPRするのが上手なのかもしれません。奈良も奈良の良さをしっかりPRしていくべきだと思います。以上、私の意見となります。この会合が奈良駅に向かってどうぞ実りの多いものでありますように、一生懸命になって微力ではありますがご協力したいと思っています。

【会長：奈良市長 仲川げん】

ありがとうございます。県内の候補地を一本化にという声があるのは私も聞き及んでおります。実際に京都さんもまだ色々動きをつづけておられる状況の中、先ほどご紹介しましたが、奈良市に近い木津川市さんや精華町さんの学研エリアの動きです。はっきりと言にくい所もあると思いますが、木津川市長と、奈良市長がリニアのイベントと一緒に出演しているという状況自体が、もはや京都駅より奈良駅のほうが、我々もよいんだというメッセージだと思います。京都に対しては、ライバルという部分と味方のできる部分と両方あると思いますので、奈良市駅が京都府南部のニーズを取り込んでいくということで、南部についてはそうしたお付き合いといいますか、連携をすすめていけたらと思っています。

また、大阪の話がでましたが、やはり先程田尻先生もおっしゃっていただいたように、いわゆる大阪駅か新大阪駅か、という議論が、まだすっきりしていないというところがあり、その行先、出口によっては奈良駅の立ち位置というか、存在価値が変わってくるという事が、正直あると思っています。そのあたりは、関西広域連合の意見集約があったり、それぞれの首長さんの色々なご発言があったり、少しまとまっていないところもございます。このあたりも含めて、いわゆる名古屋以西が国内的な議論をしていかなければならないという時期が、かなり近づいているというのが間違いない事実だと思います。このあたりは、本日県議会の先生にたくさんお越しいただいていますが、県議会でも議論がおりだと思えますし、県内での一本化ということを、いかに建設的な議論をすすめていくかということに関しても、今、非常に重要な場面に差し掛かっているという風に認識しているところでございます。

また、JR 東海さんのご発言の部分でございますが、今ちょうど、「うまいうるわし奈良キャンペーン」が10周年ということで、特集だったり色々やっております。東京からのお客様のお話をきいておりますと、今、東京の駅が奈良のPRで埋め尽くされるという話もあります。JR 東海さんは、もともと相当奈良に対しては、興味関心を持って、力を入れていただいている企業だという風に思っていますので、我々も奈良市に駅ができることの意義をしっかりと訴え続けていきたいと思えます。また、奈良市のための奈良市駅ではなくて、奈良市が窓口になることによって、法隆寺なり飛鳥なり、県内の観光地にもアクセスしやすくなる、いわゆるハブになるという事だと思えますので、ハブとスポーク（のぼす）。この考え方でいきますと、やはり奈良という中心性を持ったところに駅をもってくることの重要性が見えてまいります。今日も後程、提言、要望の決議の予定がございますけれども、是非、このあたりを、しっかりと表現して、意見を訴えて、関係機関の理解を得ていきたいと思えます。

他にご意見ご質問ありましたらどうぞ。

【顧問：奈良市議会観光文教委員会委員長 植村佳史】

奈良市観光文教委員会の植村でございます。今の説明聴かせていただいて、よくがんばっておられると思えます。本日お越しのリニー君についても、あとで握手でもしたいと思っています。

リニア奈良駅を奈良市にというのは、当然私にとっても悲願です。この目標設定というのが、2045年となっていますが、我が党、自民党のリニア推進の方においても、2027

年の大阪東京同時開業を進めようという声が非常に高まっています。

2045年開業の場合と、2027年の同時開業の場合のいわゆる経済効果を比較すると、12.1兆円の差が出てきます。我が国としても、一番経済効果をうむためにも、同時開業が非常に大切だと認識しています。大阪の場合だと、「2027年同時開業をやりたい」という声が、我々の方にも聞こえてきます。この感覚が大切で、2045年とやってやっていると、2027年とやってやっているとでは、力の入れよう、進め方もかわってくるのではないかと感じるんです。そう考えた場合、イメージ的に私達も2027年同時開業を想定してそれに対応する形で、やっていく必要があるのではないかと。こういう風に、意見として申し上げます。

【会長：奈良市長 仲川げん】

ありがとうございます。のちほど採択予定の決議にもそうした表現がでてますが、関西の経済界が同時開業や同時開業に限りなく近い形をめざしている中、我々も、同じ思いをもっています。2045年だからだいたい先だというゆっくりとしたペースでなくまさにここ数年の間にルートと駅の場所が決まる。それにともなって、その駅を中心とした街づくりをどうするかということもあわせて、まさに今問われている時期だという認識をもって、是非みなさんとも議論を深めながらしっかりと進めていきたいと思っています。ありがとうございます。

【顧問：奈良県議会議員 田尻匠】

最後に一点だけですけども、せっかくの機会でございますので申し上げます。このたび、県議会の皆様方のご推挙で、関西広域連合議会に行かせて頂くことになり、12月14日に初めて関西広域連合議会の方へ参らせていただいたところです。その議論の中の一つに、北陸新幹線の問題がありました。昨日、JR西日本が関西広域連合に、ルートの説明を行ったようでございます。関西広域連合としてはすでに、米原敦賀ルートを推薦されておられましたが、その変更を余儀なくされるのかなと、いよいよ、その議論がもう一度再開される時いております。そんな中で、2月13日に関西広域連合議会の役員会と全員協議会がはじまります。奈良県が、関西広域連合として質問をする時間の割り当てとか割り振りが決まります。その中でもし機会があれば、奈良県の3名がいらっしゃるので、関西広域連合として奈良のリニアの取り組みであるとか、ルートのお話を含めて、そこでしっかりと聴いてまいりたいと思います。もちろん、京都府、京都市もでておりますので、かなり強硬な意見がでておるのはすでに承知しておりますが、リニアは

奈良にという事で、しっかり伝えてきたいと思います。以上です。

【会長：奈良市長 仲川げん】

是非広域連合の中で奈良市という単語をだしていただけると我々としてはありがたいと思います。よろしく願いいたします。

それでは議事の二つ目、会員活動報告及び今後の活動について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

推進会議の会員活動報告および今後の活動について報告いたします。資料の2をご覧ください。はじめに、1. 推進会議開催意義について改めて確認したいと思います。

- ①奈良市のリニア新駅誘致に向けた決意の継続的な意思表示及び情報提供の実施
- ②市役所のみではなく、官民一体・奈良市一丸となった意見表明の実現
- ③各会員の人脈を含む社会的影響力による、JR 東海、国土交通省、奈良県知事、県内首長、その他関係者へのロビー活動の強化
- ④市役所に無い視点からの意見の抽出（住民・民間企業・社寺等としての意見）
- ⑤各従業員、観光客等、多岐にわたる対象者への啓発活動

以上が、推進会議開催の意義であると考えます。

次に、2. 会員の現状と今後の課題について報告いたします。

平成27年10月7日～10月21日までの間、会員アンケートを実施いたしました。会員の皆様におかれましては、ご多忙のところご協力ありがとうございました。アンケート結果集計の詳細として、資料3を作成していますので、必要に応じてご参照ください。

アンケート調査を踏まえた現状として、

- ①会員として取り組んでいること、会員として取り組みたいこととして
・「ポスター掲示チラシ配布」・「イベント実施」・「ホームページでのPR」が多い
- ②今後の取り組むべきこととして、「他市との連携」「要望活動」の意見が多い
という状況があります。

イベント実施の一例として、本日、奈良市商店街振興会様発行の「商振会ニュース」という冊子を配布させていただいています。昨年9月29日に実施されたお客様感謝イベント「ならまち演芸」の中で、奈良市のリニア誘致PRにご協力頂いた様子が記載されていますので、ご参照ください。

一方、会員間において、リニア誘致の現状についての認識や、活動内容の規模に開きが

あり、③会員ごとに組織体制の規模・内容が異なることから、一律の活動は困難であるという状況でもあります。

つぎに、【今後の課題】として

- ①誘致の状況と過去の経緯の周知をはじめとし、内外に対し継続的な情報発信と、市役所と会員の情報共有の強化が必要
- ②各会員それぞれの活動について、できる事、できないことの整理が必要
- ③JR 東海、国土交通省、奈良県知事、県内各自治体、その他関係者への組織的な要望活動の強化が必要

といったことが課題として考えられます。

3. 今後の推進会議会員の活動について です。

アンケート結果、会員の現状と課題を踏まえた会員の活動内容案として、以下①～③について、可能な限り実施していただくことを、ご提案させていただきます。

はじめに、①. 会員各位の取り組みとして、

奈良市リニアファン倶楽部の入会促進（組織内では原則全員入会していただきたいと思えます。メールアドレスをお持ちの会員様には、後日入会フォームを送信させていただきます。）

また、フェイスブックのアカウントをお持ちの会員様には、奈良市「リニア招き鹿：りにまね」のフェイスブックへの「いいね」を、ツイッターのアカウントをお持ちの会員様には、奈良市リニア推進課公式ツイッターへの「フォロー」を、あわせてお願いいたします。活動状況について、定期的に更新をしていますので、よろしくお願ひいたします。

また、各会員組織の事務所等でポスター掲示、チラシ配布をお願いいたします。これはお客様に対してではなく、従業員の皆様を対象にという意味です。後日必要部数を提供させていただきますと思ひます。

次に、②住民への誘致活動についてですが、住民向けにポスター掲示、チラシ配布、こちらは各会員のお客さん向けに、ポスター掲示、チラシ配布をお願いするものです。

次に、ホームページ上のPRです。ホームページをお持ちの会員様は、ホームページ上での広報をお願いいたします。

次のイベントの開催（リニア誘致キャラクターの活用）につきましては、会員様の方でイベントを実施される機会があれば、何らかの形で PR のご検討をお願いいたします。りにまねの着ぐるみの貸出等も実施していますので、是非ご検討をお願いします。

続きまして、③関係機関への誘致活動についてです。

リニア新駅の設置箇所を決定するのは JR 東海です。また、管轄省庁である国土交通省、奈良県知事もその決定に強い影響力を持ち、こうした関係機関への要望活動が非常に重要となり、その充実が課題ともなっています。昨年度は、奈良県知事への要望時、矢追副会長にご参加いただきました。また、過去には商工会議所、観光協会より単独で提言書の提出がなされています。

こうした要望活動へのご参加でなくとも、会員様の日頃のお付き合いの中で、関係機関への小さな働きかけが、大きな成果につながることも考えられます。こうした日常的な要望活動にも是非、ご協力いただきたいと思います。

以上、事務局からの報告を終わらせていただきます。

【会長：奈良市長 仲川げん】

はい、ありがとうございます。それでは、ただいま説明のありました今後の活動ということにつきまして、ご意見ご質問、またご提言等ありましたら、よろしく願いいたします。

(意見なし)

まずは会員の皆様方のお近くのところから、情報発信の中心をになっていただければ、ありがたいと思っております。誘致にむけた機運の醸成にとりくんでいきたいと思っておりますので、行事があるから、「出前で説明にきてくれ」であるとか、着ぐるみやグッズの貸出とか、お声掛けいただきたいと思います。

今後の活動につきましては、基本的にこのような形で、進めていきたいと思っておりますが、是非追加的なご提言ありましたら、ぜひ我々も、年度の途中でも色々と工夫をして、誘致活動を盛上げていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、最後の方にごございました誘致に向けた提言活動についてということで、国、JR 東海、県などに提言書等をもって PR にいくことがございます。そういったときに、官民一体で取り組んでいるということをより大きく伝えていくことが大事だと思っております。私はもちろん、是非会員の皆様方にも是非ご参加いただき、おおきな塊で動いていきたいという風に思っております。よろしく願いいたします。

それでは議事の三つ目、リニア中央新幹線奈良駅設置推進決議に移ります。事務局よ

り説明をお願いいたします。

【事務局】

お手元にございます、リニア中央新幹線奈良駅設置推進決議案をご覧ください。
それでは、読み上げさせていただきます。

決 議 (案)

リニア中央新幹線は、日本の三大都市圏を約一時間で結び、世界最大規模の巨大都市圏を形成する国家的プロジェクトであり、平成 39 年（2027 年）開業予定の東京・名古屋間の工事が、平成 26 年 12 月に着工され、ついに実現に向け動き始めた。

これは、全国新幹線鉄道整備法に基づく昭和 48 年の基本計画及び平成 23 年の整備計画における「奈良市附近」という記載、平成元年の奈良県議会及び奈良市議会における「奈良市に停車駅を設置する」という議決に基づき、事実上の中間駅設置予定地として誘致活動を推進する奈良市のみならず、新幹線駅も空港も持たず、高速交通の国土軸から外れてきた奈良県全体の発展にとって大きな前進である。

一方、名古屋・大阪間は東京・名古屋間の開業後、実に 18 年遅れの平成 57 年（2045 年）開業予定となることにより、関西経済の地盤沈下も懸念されている。また、名古屋・大阪間の詳細なルートや中間駅設置場所についても未だ決定されていない状況である。

これらの状況を踏まえ、我々は、奈良県民長年の悲願であるリニア中央新幹線の早期全線開業及び奈良市への中間駅設置の実現のため、引続き官民一体となり強力な運動を展開するとともに、関係機関に対し、下記について早急に適切な措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 早期にリニア中央新幹線の東京・大阪間の全線開業を行うこと。
- 2 災害時のリスク分散化のため、東海道新幹線のリダンダンシー機能を備えた「奈良市」を経由するルートとすること。
- 3 世界遺産「古都奈良の文化財」を有する日本屈指の観光地であり、乗降客にとって利

用価値が高く、県下最大の鉄道需要を誇る県都「奈良市」に中間駅を設置すること。

以上決議する。

平成 28 年 1 月 29 日

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議

会 長 仲 川 げ ん

以上でございます。

【会長：奈良市長 仲川げん】

はい、ありがとうございます。ただいまの決議案について何かご意見やご質問等ありましたら、マイクをお持ちします。

(意見等なし)

この内容で決議とさせていただきますよろしゅうございますでしょうか。

(拍手)

それでは決議とさせていただきたいと思います。提言活動につきましては、後日各関係機関に行わせていただきたいと思いますので、スケジュール等につきましてはご一任を賜ればと思っております。

なお、今回は国や JR 東海等に対する決議に加えまして、県に対しましては要望書という形で別途添付をする予定をいたしております。決議はどちらかといいますと、大きな文面で書いておりますので、県としても同じ方向性を持っていただいているかと思いますが、特に県内において奈良市に駅誘致をいうことにつきましては、逆に荒井知事にお出しすべきものだと考えています。これにつきましては、別紙お配りをさせていただいております。いままで同じことを申し上げておりますが、

(1) 県都として政治・経済・文化の中心地であり、各種研究会・学術会議・その他イベ

ント開催等についても、最も利便性が高いという点。

- (2) 世界遺産をはじめとする県下随一の観光資源と知名度を有し、中心性のある日本が世界に誇る国際文化観光都市である点
- (3) 県下最大の鉄道乗降者数を誇り、また、鉄道のみならず自動車道においても周辺他都市とのアクセス性にも優れている、いわゆる結節性も十分にもちあわせている点。

この3点から、「奈良県の中には奈良市に駅を設置していただくべきだ」といった趣旨で要望書をしています。この内容につきましても、ご意見ご質問等ございましたら、あわせてお伺いしたいと思いますが、いかがでございますでしょうか。

【顧問：奈良県議会議員 池田慎久】

すみません。タイトルが「リニア奈良県駅」としているというのはどういった意味がありますか。

【会長：奈良市長 仲川げん】

「リニア奈良市駅」の間違いではないかということですね。

【事務局】

こちらについては、例えば東京・名古屋間の中間駅につきましても、神奈川県駅とか、山梨県駅とかいうような表現が用いられ、駅の位置が甲府市であるとか、相模原市であるということがございます。こうした状況から、このタイトルにつきましては、「奈良県駅」設置というタイトルを使わせていただいています。

【会長：奈良市長 仲川げん】

「奈良県駅」として奈良市にという趣旨ですね。

【顧問：奈良県議会議員 池田慎久】

了解いたしました。

【会長：奈良市長 仲川げん】

一般的にこういう表現を使っているとのことですが、わかりにくいということでしたら変更を検討してもよいと思いますが、みなさんいかがでしょうか。

【顧問：奈良県議会議員 新谷紘一】

奈良県内の統一をはかるということですので、これで良いと思います。

【会長：奈良市長 仲川げん】

他の例からみても、奈良県駅ということで、単語として間違いではないということのようなので、よろしいでしょうか。説明申し上げるときには、そのあたりに説明を加えたいと思います。よろしく願いいたします。

その他、ございますでしょうか。

(意見なし)

それではこのような形で知事には要望書を、決議案に加えて提出いたしたいと思えます。よろしく願いいたします。それでは以上をもちまして、本日の議題は終了でございます。ご協力ありがとうございました。事務局にマイクをお返しいたします。

【司会】

本日の会議につきまして、後日議事録を作成いたします。各会員の皆様にご確認いただきましたのち、奈良市のホームページなどで公開しますので、あらかじめご了承ください。以上をもちまして、「平成 27 年度奈良市リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」を終了いたします。皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。

(以上)